

この人に会いました

4月から、日本ケーブル株式会社さんに湯沢温泉ロープウェイの経営をお願いすることになり、常務取締役の森谷智史さんにお話を伺いました。



日本ケーブル株式会社
常務取締役
森谷智史さん

この度、日本ケーブルさんは湯沢温泉ロープウェイの経営を引き受けられました。

日本ケーブルさんは、索道事業者としてのみならず、観光事業者としても、日本国内及び海外において積極的な事業展開をされており、近年のスキー観光の低迷と現状について、観光の専門家としての立場からの考えをお聞かせください。

スキー業界は、バブル崩壊後、マーケットの縮小傾向に歯止めがかかっていないのが現状と考えます。

その要因といたしましては、スキー人口の減少と天候不順等が挙げられますが、さらに大きな要因として、消費者側のライフスタイルの変化に伴うニーズや求めるサービスレベルの高度化も大きく影響していると考えられます。つまり「余暇時間をいかに有効に使い、楽しむか」ということを、様々な体験や情報をもとに消費者がきびしい目で吟味し、余暇の過ごし方を決めていくということですね。こうした時代の流れにスキー場の対応が充分でないことは否めません。三方

スキー場側においては、経営面での苦戦を強いられているなかで、スキー場の事業再生に向けた経営形態の多様化が進んでおり、従来の枠にとらわれない合理的な運営への流れが活発になってきています。このような動きが本格化することは、現状打開と回復軌道に向けての必要なプロセスであると考えています。

日本ケーブルさんは、湯沢温泉ロープウェイをはじめ、最近では世界最長の苗場・田代ゴンドラなどを建設され、湯沢町とは特に深いかわりがある会社と思っておりますが、湯沢町への想いにつきましては、どのように感じておられるか教えてください。

湯沢町は当社にとって、非常に思い入れのある地です。昭和63年にスキー場が密集する上越エリアのサービス拠点として国道17号線沿いに事務所を構え、現在は新潟県・長野県・群馬県・富山県・石川県を管轄する北陸信越支店として営業・サービス活動を展開させていただいております。来年度で20年になります。この間、スキー場の事業者様はもとより、町民の皆様とともに歩み、強い信頼関係を築き上げることができたと考えております。特に、平成3年に、様々な苦難を乗り越え、当時としては世界最大の166人乗りの「湯沢温泉ロー

プウェイ」を完成させた時の感動は今でも忘れることができません。そして、そのロープウェイが湯沢町のシンボルとして、今なお親しまれ続けていることは、感慨深いものがあります。

観光業界を取り巻く厳しい現状のなかで、ロープウェイ事業所の経営を引き受けていただくことになりましたが、今後の抱負についてお聞かせください。

この度、当社グループにより、湯沢温泉ロープウェイ、アルプの里など、湯沢町の観光事業施設を管理運営させていただくことになりましたが、貴重な町の財産を預かりするという責任の重さを痛感しております。湯沢町は観光資源が豊富で、まだ発掘しきれっていない「湯沢ならではの宝物」が多く存在していると思っております。町民の皆様が当たり前と思っているものでも、観光で訪れる人たちにとっては、新鮮に感じられるものにとつては、新鮮に感じられるものがたくさんあるのではないのでしょうか。産みの苦しみはありますが、湯沢の新たな魅力をつくり、アピールしていくために、「幅広い視点をもち、自らが努力する」という精神を絶えず持ち続けていきたいと思っております。運営にあたりましては、当社の関連スキー場・観光施設で培ったノウハウとグループの力を最大限に発揮し、「四季を通じて来場者に喜んでいただけるサービスと施設」をテーマとして、運営に取り組みとともに、湯沢町の発展のために全力を尽くして参りますので、町民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

インタビューを終えて

湯沢温泉ロープウェイの経営を日本ケーブルさんにお願することにになりましたが、森谷智史常務取締役にお話を伺うなかで、湯沢町を自分の故郷のように慈しんでくださる心を感じました。経営主体は変わっても、湯沢温泉ロープウェイが町の最大の観光資源であることには変わりはありません。

町民の皆様の協力のなかで、この経営を成功させなければなりません。

1月19日

議会広報特別委員会

委員長 柿崎直治
委員 師田 保



北陸信越支店(湯沢字中島川原)

日本ケーブル株式会社の概要
本社 東京都千代田区神田錦町2の11
設立 昭和28年
資本金 2億円
従業員 約300名

編集後記
「絆(きずな)」

新年あけましておめでとうございます。

猪で、猪突猛進の年です。我が町のスキー客来場者数は平成初期の全盛から大きく後退して年々減少の一途にあります。

この対策として中里地区では今シーズン中里スキー場で、全日本スノーモビル選手権第1戦各種大会が開催されますし、スノーモビルランドもオープンしましたので見にお出かけ下さい。

夏の観光客誘致策としてホテルの里、カタクリの里、川遊び場、トレッキングコース整備事業を国の助成事業5ヶ年計画でスタートし、完成が期待されるところです。

昨年は異常豪雪、今年は少雪で年末年始は少雪ながらもなんと滑れてほっとしたことと思います。

広報委員 南雲正美

編集

湯沢町議会
広報対策特別委員会